



受験に向けての準備は?

いよいよ本格的な受験シーズンとなりました。受験を乗り切るためには、準備をきちんとすることが大切です。当日忘れ物をしたり体調が不十分だと実力を発揮できないのは当然として、準備不足は思わぬ失敗につながるものです。受験の結果は、「前日までに半分決まると心得よ」です。勉強の方は最後の追い込みなので頑張ってください。普段の生活ももう一度見直し万全の状態の入試に臨みましょう。

ー健康面、安全面の準備ー

まずは、10日発行の保健だよりをよく読んでください。特に、かぜやインフルエンザの流行する季節です。手洗いやうがい、規則正しい生活、バランスのとれた食事に心がけてください。インフルエンザは、普段の学校生活では欠席扱いになりませんが、入試では考慮してくれません。つまり、たとえインフルエンザであっても欠席、不合格となります。また、休憩時間に鬼ごっこをしていて骨折なんて話になりません。くれぐれも落ち着いた生活をしてください。



ー服装や頭髪、持ち物の準備ー

受験前日の夜に、受験票や願書と一緒に配られる募集要項(私立)、選抜実施要項(公立)を見ながら持ち物を準備すると思います。でも、そのときに鉛筆や鉛筆削りがないと慌ててコンビニに走ることになるかも。受験に「慌てて」は禁物です。早めに受験のための持参物は、「受験グッズ」としてひとまとめにしておきたいものです。

服装は大丈夫ですか。普段からきちんとしていれば、特に入試だからと気をつけることはありませんね。少し気になることがあるとすれば、上履きです。新しく買うのは、もったいないし不自然です。きれいに洗った上履きの方が好感が持てます。髪も短めに、女子の長い髪は結んで清潔感をアピールしよう。



ところで、受験会場の下見をしましたか? 当日、9時集合なら8時半にはついておきたいものです。8時半につくためには...と考えると、平日の朝に下見ができればベストです。つまり、下見は冬休み中がラストチャンスでしたね。オープンスクールなどに参加した人は、交通手段は理解できていると思いますが、朝と午後では混雑の様子が違うでしょう。入試当日、高校生はいないと思いますが、通勤客と受験生でバスに乗りきれないというような事態が起きることも考えられます。でも、下見をまだしていない人は、学年末試験の午後などを利用して是非してみてください。

最後に、もっとも大事な準備は心の準備です。普段から適度の緊張感をもって生活しよう。入試当日は、どうしても緊張するものです。緊張することになれておこう。先生との会話も、試験官と話をしているつもりで言葉づかいに気をつけよう。敬語や丁寧語は、普段から使っていないと舌をかみそうです。大切なことは、受験だからといって特別な準備をしなくてもいいような生活を送りましょう。

